



# 時中だより

令和6年の漢字

# 信



学校だよりコーナー

時津町立時津中学校  
令和6年度学校だより6号  
令和6年6月28日発行  
文責：校長・副校長

## 郡中総体水泳競技の結果

6月15日(土)、16日(日)に長崎市において、西彼杵郡中学校総合体育大会水泳競技が長崎市と合同で開催されました。本校からは3名の生徒が出場しました。日頃はスイミングスクールで練習を積み重ねながら力を磨いてきました。結果は右のとおりで、3名とも見事に県大会への出場を勝ち取りました。おめでとうございます。(※は県大会出場)

### 共通男 100m 平泳ぎ

- ※2位 生田 蒼(2年)
- ※3位 里見 大河(2年)

### 共通男子 200m 平泳ぎ

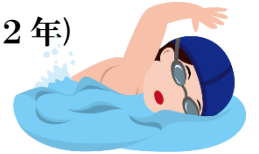
- ※2位 生田 蒼

### 共通男子 100m 自由形

- ※5位 田川慶之介(2年)

### 共通男子 50m 自由形

- ※5位 里見 大河
- 6位 田川慶之介



## 時津っ子の心を見つめる教育週間

6月24日(月)～28日(金)に上記の教育週間を実施しました。この教育週間は、県内で小中学生が被害に遭った痛ましい事件をきっかけに、二度とこのような事件が起きないように、県下で『長崎っ子の心を見つめる教育週間』として、継承されてきたものです。

本校では、24日(月)の早朝に校長が「命の大切さ」について講話を行い、教育週間の取組が始まりました。右の詩は講話の中で紹介されたものです。

24日(月)の5校時の道徳で、1年生は「ばあば」、2年生は「体験ナース」、3年生は「ドナー登録」という題目の命に関する授業を行いました。学級によっては、生徒たちの班に保護者の方も入られ、意見交換をしていたところもあります。ご家庭でも、道徳で扱った内容について、改めて親子の会話をしていただくと幸いです。お忙しい中、たくさんの保護者や地域の方々に参観していただきました。本当にありがとうございました。

「命」  
宮城由起奈作

命はとても大切な  
人間が生きるための電池みたいだ  
でも電池はいつか切れる  
命もいつかはなくなる  
電池はすぐにとりかえられるけど  
命はそう簡単にはとりかえられない  
何年も何年も  
月日がたつてやつと  
神様から与えられるものだ  
命がないと人間は生きられない  
でも  
「命なんかいらぬい。」  
と言って  
命をむだにする人もいる  
まだまだたくさん命がつかえるのに  
そんな人を見ると悲しくなる  
命は休むことなく働いているのに  
だから、私は命が疲れたと言うまで  
せいっぱい生きよう

## 公衆電話に関するお知らせ

携帯電話の普及により、国の方針に沿って本校の公衆電話が撤去されました。

そこで、緊急に連絡を取る必要もあることから、町にお願いして職員室前に代替電話を設置しました。100円、1000円硬貨のみ使用できます。使用については、下記の2つの点についてご理解ください。

- ① 1000円硬貨を入れた場合、おつりは出てきません。
- ② この公衆電話からかけた場合は着信番号(095-881-7021)が表示されます。ただし、この番号にかけ直しても、応答ができない仕様となっています。

## 7月の主な行事

- 7/ 2(火) 生徒総会
- 7/ 9(火) ペーロン体験事前学習【2、3年生】
- 7/13(土) ペーロン体験【2、3年生】
- 7/18(木) 大掃除【6校時】
- 7/19(金) 終業式【4校時日課、給食なし】
- 7/21(日) 県中総体【7/23まで】
- 7/25(木) 面談【全学年、8/2まで】
- 7/28(日) 県吹奏楽コンクール県南地区予選  
【会場：長崎ブリックホール】